

a keyboard anthology

**First Series Book III**

Grade 5

**AIBRISM**  
PUBLISHING

a keyboard



anthology

キーボード・アンソロジー 1シリーズ  
Book 3 (グレード5)

with pieces by

J. S. Bach, Beethoven, Clementi, Couperin,  
Daquin, Franck, Glière, Grieg, Handel, Heller, Jones,  
Mendelssohn, Scarlatti, Schumann, de Sévèrac

edited by Howard Ferguson

The Associated Board of the Royal Schools of Music

---

1. アルマンド 二短調  
フランソワ・クーブラン p. 2

---

出典：クーブランの著書「L'art de toucher le clavecin」(1716 クラヴサン奏法論)  
「——」という記号はクーブランではスラーを示す。オリジナルの装飾記号のうち5つが省かれている。また、18世紀のフランスのnotes inégales(イネガル奏法)という伝統にのっとって演奏すると、つまり、16分音符を2つペアにし、わずかながら第1音を長めに第2音を短めに——非常に大まかな表現ではあるが、【本では音符例】のように——弾く事により、リズムに軽快さを与えることが出来る。

---

2. ジーグ、組曲第1番 二短調より  
リチャード・ジョーンズ p. 3

---

出典：「Suits or Setts of Lessons for the harpsichord or spinner」(J.Walsh,)  
すべてのフレージング、強弱記号は、校訂者の手による。

---

3. プレリユード 二長調 BWV936  
ヨハン・セバスチャン・バッハ p. 4

---

オリジナル譜には、テンポの指定も 強弱記号も書かれていない。ただ唯一フレージングとして4-6小節目に現われる3個のスラー(2つの音をつないでいる)が書かれている。

---

4. ソナタ イ長調 K.74, L.94  
ドメニコ・スカルラッティ p. 6

---

この楽譜は、現在はパルマにあるパラティーナ図書館所蔵のスカルラッティの鍵盤曲集15巻の原譜からの一曲。すべてのフレージング、強弱記号は、校訂者の手による。

---

5. クラント、組曲 変口長調 B.60/15より  
ゲオルグ・フリードリヒ・ヘンデル p. 8

---

出典：「Suites de Pièces pour le Clavecin...Second volume」(J.Walsh, London 1733)  
すべてのフレージングは、校訂者の手による。

---

6. 荒れ狂う風  
ルイ・クロード・ダカン p.10

---

出典：「1er Livre de Pièces de Clavecin」(1735)  
右手パートの7つの装飾記号が省略されている。また、フレージング、強弱記号は、校訂者の手による。  
18世紀のフランスのnotes inégales(イネガル奏法)は、ここではこの曲の勢いを妨げるかもしれないので使っていない。

---

7. ソナタ 二長調 Op.25 No.6 第2楽章  
ムツィオ・クレメンティ p.14

---

出典は、「Six Sonatas for the piano-forte. Op.25」(J.Dale, London, 1791)からの第6番。

---

8. バガテル ト短調 Op.119 No.1  
ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン p.17

---

出典は、「12 Nouvelles Bagatelles, Op.112」(Diabelli,1826)のセカンド・ウィーン・エディションより。

---

9. ヴェニス <span>の</span> ゴンドラの歌 Op.19 No.6 フェリックス・メンデルスゾーン-バルトルディ	p.20
--	------

---

楽譜は、1840年の初版に基づく。ペダリングは、オリジナルの記号箇所以外にも、必要である。

---

10. 騎手の歌 Op.68 No.23 ロベルト・シューマン	p.22
------------------------------------	------

---

出典は、1848年に書かれた「Album für die Jugend, Op.68」のシューマン本人の自筆譜より。

---

11. プレリュード へ長調 Op.119 No.16 ステファン・ヘラー	p.24
--	------

---

出典：「32 Preludes, Op.119, Book I」(Chappell, London, 1867)

---

12. 民謡 Op.12 No.5 エドヴァルド・グリーグ	p.26
----------------------------------	------

---

出典：「Lyrische Stückchen, Book I, Op.12」(Peters, Leipzig)

---

13. かわいい隣人 デオダ・ド・セヴラック	p.28
---------------------------	------

---

出典：「En Vacances, 1er Recueil;」(Roouart, Lerolle, Paris 1911)  
□の印は「短い休止」の意味である。

---

14. 夜 Op.43 No.5 ラインホルト・モリツォヴィチ・グリエール	p.30
--	------

---

出典：「Huit Pièces faciles, Op.43」(P.Jurgenson, Leipzig and Moscow 1910)

---

15. 小曲 セザール・フランク	p.32
---------------------	------

---

出典：「L'Organiste; 44 Petites Pièces」(Enoch, Paris)

